

図書館で 認知症を知る



認知症は誰もが関わるかもしれない身近な病気です。いつかに備えて、認知症の症状など、さまざまな情報を知っておくと安心です。この調べ方案内では、認知症の基礎知識から、利用できる制度、介護施設等の調べ方、相談窓口や役立つウェブサイトなど、認知症に関する情報を幅広くご紹介します。

資料リスト「認知症に寄り添う」(2021年3月発行)もあわせてご活用ください。



埼玉県立図書館
ウェブサイト QR コード

埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当
久喜市下早見 85-5 Tel : 0480-21-2659

目次

1 認知症とは？

①認知症を正しく知る ②ガイドライン

2 認知症予防のために

①図書館で情報を集める ②身体を整える

3 病院を探す

①認知症疾患医療センターを探す ②専門医・病院を調べる

4 利用できる制度

①福祉・医療の制度 ②暮らしを支えるためのサポート制度

5 サポート方法・介護

①ケアに関すること ②介護サービス事業所・施設を探す

6 相談窓口・話を聴く

①相談する ②体験談を聴く ③闘病記を読む



一般書・入門書



専門的な図書



インターネット情報



電話相談窓口

医療関連図書は久喜図書館、介護関連・法制度に関する図書は熊谷図書館で所蔵しています。
お近くの公共図書館にお取り寄せもできます。

1 認知症とは？

① 認知症を正しく知る

 『認知症 よくわかる最新医学』（杉山孝博監修 主婦の友社 2019.12）
認知症について知っておきたい基礎知識から、認知症の人とよいコミュニケーションをとるための12カ条、自宅介護に関する実践的なアドバイス、医療や施設のこと、利用できる制度や窓口情報までを知ることができます。

 『認知症いま本当に知りたいこと 101』（阿部和穂著 武蔵野大学出版会 2017.6）
一般の方が抱く認知症についての疑問を、薬学部教授の著者がわかりやすく解説しています。

 『まるごとわかる！認知症』（羽生春夫，櫻井博文著 南山堂 2020.6）
認知症の基礎知識からケアについて、全面カラーとイラストでわかりやすく解説している本です。認知症に携わる医療関係者の方も基礎が学べます。

 『ぜんぶわかる認知症の事典』（河野和彦監修 成美堂出版 2016.4）
認知症の症状、検査・診断、治療のことなどを全面カラーとイラスト多数で解説しています。

 Minds 版やさしい解説 認知症（第2版）（Minds ガイドラインライブラリ）

<http://minds.jcqhc.or.jp/n/pub/3/pub0115/G0000592/0001>

信頼性の高い情報を提供している日本医療機能評価機構が運営するウェブサイト。認知症とはどんな病気か一般の方向けにやさしく解説しています。

【若年性認知症とは？】

18歳以上、65歳未満で発症した認知症を、若年性認知症といいます。働き盛りの世代で発症するため、経済的に困難な状況に陥りやすく、家族の生活に影響が出るなど、負担が大きくなりがちです。受けられる制度や相談窓口などを調べる方法を知っておきましょう。

 『本人・家族のための若年性認知症サポートブック』（小長谷陽子編著 中央法規出版 2010.11）
若年性認知症を理解するための医学的、心理的な面や認知症高齢者との違いにはじまり、サポート方法や制度、窓口の紹介、認知症の人のケアについてなどを詳しく解説した本です。

 「若年性認知症の疫学・臨床・社会支援」（『精神医学 62 巻 11 号』医学書院 2020.11）
若年性認知症に関する様々な課題や支援等を、専門家の視点から解説しています。

 **若年性認知症コールセンター**（社会福祉法人 仁至会 認知症介護研究・研修 大府センター）

<http://y-ninchisyotel.net/>

「若年性認知症について知る」「生活を支える制度や支援」「若年性認知症の人が集える場所」「コールセンターに届いた声」「全国各地の専門相談窓口」など、項目別に若年性認知症に関連する情報がまとめられています。

トップページ > 資料集 には、若年性認知症に関するパンフレット類が公開されており、無料でダウンロードができます。また様々な相談について、電話相談やメール相談窓口をご案内しています。

 **電話相談：0800-100-2707（通話無料）**

月～土 10:00～15:00（年末年始・祝日除く）

メール相談窓口：<https://y-ninchisyotel.net/mailform/>

 **若年性認知症に関する取組について**（埼玉県福祉部 地域包括ケア課）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/ninchisyosesaku/jakunen.html>

県内の相談窓口や交流の場などの情報から、若年性認知症に関するパンフレットもダウンロードできます。

埼玉県・さいたま市若年性認知症サポートセンター

 **電話番号：048-814-1212 月～金 9:00～16:00（年末年始・祝日・夏季休暇 除く）**

FAX 番号：048-814-1211（随時受付）

その他、メールや来所、来訪による相談も応じています。

②ガイドライン

ガイドラインとは、各学会などがそれぞれの病気について、科学的な根拠に基づいて作成された一般的な診療方法が書かれた資料のことです。

（注：ガイドラインに示されるのは一般的な診療方法であるため、必ずしも個々の患者の状況に当てはまるとは限りません。）

 『**認知症疾患診療ガイドライン 2017**』

（日本神経学会監修 「認知症疾患診療ガイドライン」作成委員会編集 医学書院 2017.8）

 **認知症疾患診療ガイドライン 2017**（一般社団法人 日本神経学会）

https://www.neurology-jp.org/guidelinem/nintisyo_2017.html

【新オレンジプランとは？】

認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）とは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えて「認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現することを目指して」を目的に、厚生労働省、関係11府省庁と共同で策定されました。（2017年7月改訂）

新オレンジプランの取組は、7つの柱に沿って推進されています。

1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
2. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
3. 若年性認知症施策の強化
4. 認知症の人の介護者への支援
5. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
6. 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
7. 認知症の人やその家族の視点の重視

 **認知症施策**（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index.html

2 認知症予防のために

① 図書館で情報を集める

 『認知症予防におすすめ図書館利用術 フレッシュ脳の保ち方』
（結城俊也著 日外アソシエーツ 2017.1）
長年にわたってリハビリテーションの第一線で活躍している著者が、図書館を使った認知症予防を解説。図書館でのライブラリハビリ活動の紹介もあります。

 『認知症予防におすすめ図書館利用術 2 読書・朗読は脳のトレーニング』
（結城俊也著 日外アソシエーツ 2018.6）
2巻では、「読書・朗読」が認知症予防につながるメカニズムとその実践方法を解説。

 『認知症予防におすすめ図書館利用術 3 『調べる力』で脳を活性化』
（結城俊也著 日外アソシエーツ 2019.6）
3巻では、「調べる力」を身につけて認知機能を鍛える方法を解説。

 **ライブラリハビリネットワーク**
<https://librarehabili.jimdofree.com/>
『認知症予防におすすめ図書館利用術』の著者である結城俊也氏が代表を務める、「ライブラリー（図書館）」と「リハビリテーション」を掛け合わせて考え出された「ライブラリハビリ」を紹介しているウェブサイト。図書館を使った健康づくりや認知症などの予防について情報を発信しています。

 『リハビリのプロがすすめる健康寿命を延ばす 1000 冊』
（結城俊也ほか共編 日外アソシエーツ 2018.2）
「動けるからだづくり」を選書の基本に、健康寿命と平均寿命の差を縮めるために役立つ本を解説。たくさん本の情報が詰まっています。

 『認知症対策の新常識「絵本の読み聞かせ」が、予防・機能改善に効く！』
(鈴木宏幸, 渋川智明著 日東書院本社 2018.10)
絵本の読み聞かせが脳を活性化させ、認知症を予防・改善する「絵本」の活用法を紹介しています。

 **超高齢社会と図書館研究会**
(筑波大学図書館情報メディア系・知的コミュニティ基盤研究センター呑海研究室)
<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~donkai.saori.fw/a-lib>
「認知症にやさしい図書館」としての取り組みを行う図書館が増えてきています。筑波大学図書館情報メディア系のウェブサイトからは、「認知症にやさしい図書館ガイドライン」をダウンロードすることができます。

②身体を整える

 『認知症かな？と思ったらすぐ読む本 正しい軽度認知障害（MCI）の知識と対策』
(朝田隆監修 技術評論社 2017.2)
放置すると5年で半数が認知症になるといわれている軽度認知障害（MCI）は、きちんと対策をすれば進行を遅らせることができます。バランスのよい食事や運動で脳を刺激する生活習慣などを紹介しています。

 『認知症の脳活性化プログラム・レシピ』(竹原恵子編著 繁田雅弘監修 中央法規出版 2014.12)
認知症の基本、支える制度、日常生活支援の方法から、予防、リハビリテーション・プログラムレシピの実践方法を紹介しています。

 『認知症を楽しく予防しよう！ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士からの提案』
(飯山準一監修 久保高明ほか著 医学と看護社 2017.4)
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士それぞれの観点から認知症予防を提案。前半部分は、それぞれの立場から認知症について解説し、後半は体操やゲームなどのメニューが豊富に紹介されています。

 『認知症の人と一緒に作るアルバム自分史』(北林陽児, 山本由子著 翔泳社 2019.10)
アルバム形式の自分史作りは、認知症の方のケアにつながるだけでなく、一緒に作る人が認知症本人を深く知る貴重な機会にもなります。

【回想法とは？】

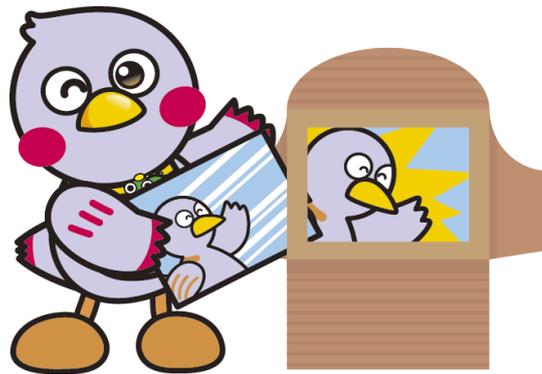
回想法は、1960年代にアメリカの精神科医であるバトラー氏が提唱した心理療法です。昔の懐かしい写真や馴染み深い物を見たり、触れたり、音楽を聴いたり、思い出を語ることで脳が活性化し、コミュニケーションの向上や心理的な安定など認知症の進行予防として効果が注目されています。現在は介護施設をはじめ、さまざまなところで取り入れられています。

 『Q&Aでわかる回想法ハンドブック「よい聴き手」であり続けるために』
(野村豊子ほか編 中央法規出版 2011.8)
回想法の考え方から目的、計画・準備、セッションにおける実践技術、記録、効果評価、研修まで実践者が知りたいテーマをQ&Aでわかりやすく解説した本です。

📖 『認知症と回想法』（黒川由紀子著 金剛出版 2014.7）
聴き手が高齢者の人間性を尊重し、過去の経験を語ってもらうことをセラピーに生かそうとするアプローチを解説。高齢者の心を理解し、どのようにコミュニケーションをとるか著者の経験を基に詳しく書かれています。

📖 『回想法と回想療法 おしゃべりを楽しむ心療回想法で認知症予防』（小林乾児著 日本回想法学会監修 福村出版 2019.4）
個別式とグループ式の回想法からレミセスブック（回想録）など、さまざまな心療回想法の解説から実践方法、心療回想法のタブー集まで詳しく知ることができます。

※調べ方案内&資料リスト「入門！回想法」（2017年2月発行）もあわせてご活用ください。



3 病院を探す

① 認知症疾患医療センターを探す

認知症に関する相談や診療、情報提供の拠点として設けられているのが認知症疾患医療センターです。認知症に関する一定の要件を満たす医療機関に対して、都道府県や指定都市によって指定されています。埼玉県内の認知症疾患医療センターは10か所。（平成31年1月現在）県のウェブサイトから確認できます。

🖥️ **認知症疾患医療センター**（埼玉県保健医療部 疾病対策課 精神保健担当）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/nintisyosennta.html>

② 専門医・病院を調べる

認知症の専門医は、日本認知症学会、日本老年精神医学会がそれぞれ認定しています。

🖥️ **日本認知症学会** <http://dementia.umin.jp/>
会員の中で、認知症診療において十分な経験と知識を有し、学会の審査に合格した医師を、認知症学会専門医としてウェブサイト上で公開しています。
「日本認知症学会認定専門医」のページ（<http://dementia.umin.jp/g1.html>）から探すことができます。

 **公益社団法人 日本老年精神医学会** <http://www.rounen.org/>
老年精神医学について優れた学識、高度な技能、倫理観を備えた臨床医を日本老年精神医学会専門医としてウェブサイト上で公開しています。「高齢者のこころの病と認知症に関する 専門医検索」のページ (http://184.73.219.23/rounen/a_sennmonni/r-A.htm) から検索ができます。

 『**埼玉県病院・救急診療所名簿**』（埼玉県保健医療部医療整備課）〔**年刊**〕

 『**関東病院情報**』（医事日報）〔**不定期刊**〕

【「かかりつけ医」や「もの忘れ外来」を受診する方法も】

専門医を訪ねるのは少し気が重い・・・そんな時には、まずはかかりつけ医に相談してみるという方法もあります。認知症医療とケアの現場でも、かかりつけ医の役割の重要性が高まっています。

また、近年では認知症の専門の外来として、「もの忘れ外来」「認知症外来」などを開設している病院が増えています。

 『**かかりつけ医による「もの忘れ外来」のすすめ 続・「ともに歩む認知症医療とケア」**』
(大場敏明, 高杉春代著 現代書林 2017.9)

「認知症新時代 かかりつけ医が主役」を提言した著者が、かかりつけ医による「もの忘れ外来」について医療関係、介護関係、ご家族等の方々に詳しい実践的な内容と豊富な事例を掲載しています。

 **公益社団法人 認知症の人と家族の会** <http://www.alzheimer.or.jp/>
ホーム > 認知症を知る > 全国もの忘れ外来一覧 から、「家族の会」が独自にホームページ等を通じて調べた全国の「もの忘れ外来」「認知症外来」の一覧が見られます。

4 利用できる制度

①福祉・医療の制度

 『**医療福祉総合ガイドブック 2020年度版**』（日本医療ソーシャルワーク研究会編 2020.4）
さまざまな生活場面に沿って解説した最新版のガイドブック。医療保険、介護保険など全国共通で利用頻度の高い制度から地域によって異なるサービスまで幅広く網羅しています。

 『**認知症で使えるサービスしくみお金のことがわかる本**』（田中元著 自由国民社 2018.6）
認知症の基礎知識から制度や相談窓口、医療や介護のサービス、地域での取り組み、お金や権利擁護のことまで、患者さん、家族が知っておきたい情報をテーマごとにわかりやすくまとめた本です。

 『**図解福祉の法律と手続きがわかる事典 4訂版**』
(若林美佳監修 三修社 2018.5)

②暮らしを支えるためのサポート制度

【認知症ケアパス】

地域ごとに、「いつ」「どこで」「どのような」認知症に関する医療・介護サービスを受けることができるのかをまとめたものです。各地域のケアパスについては、各市町村のウェブサイトで公開されています。詳しくは、各市町村役場や地域包括支援センターへお問い合わせください。

 **認知症施策**（埼玉県福祉部 地域包括ケア課，保健医療部疾病対策課）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/koresha/shien/taisaku/index.html>
認知症に関する埼玉県の支援情報がまとめられています。認知症の基礎知識などのリーフレットをダウンロードすることもできます。

 **スマイル埼玉 地域包括ケアシステム応援サイト**
（埼玉県福祉部 地域包括ケア課 地域包括ケア担当）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/houkatsukea/index.html>
「地域包括ケアシステム」とは、高齢になっても住み慣れた地域で生活できるよう、地域の人々と行政、医療や介護、福祉の専門家が協力しあって行う地域づくりのことです。このウェブサイトでは、市町村や取組項目から、各地域の地域包括ケアに関する取り組みを検索することができます。
また、認知症に関する情報は「認知症総合支援について」のページから各市町村の状況を調べることができます。

 **福祉サービス利用援助事業：あんしんサポートねっと**（埼玉県社会福祉協議会）
https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/office_13.html
もの忘れなどのある高齢者や知的障害・精神障害のある方などが、安心して生活が送れるように、福祉サービス利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的な金銭管理、書類等預かりサービスなどの援助を行っています。利用料金は、契約するまでの相談などは無料ですが、契約後の援助には料金が必要。（生活保護世帯は無料）利用申し込み・相談先は、各市町村の社会福祉協議会です。

【成年後見制度】

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方を保護し、財産管理など法律的な支援をする制度です。

 『よくわかる成年後見制度活用ブック 精神障害や認知症などのある人の意思決定支援のために』
（日本精神保健福祉士協会監修 岩崎香，田村綾子編集 中央法規出版 2018.10）
認知症などの方の、成年後見人の具体的な対応を、事例を挙げて解説。成年後見制度の概要もわかります。

 **成年後見制度・成年後見登記制度**（法務省）
<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji17.html>
制度の概要の説明や、制度について Q & A 方式で解説されており、ポスター・パンフレットのダウンロードもできます。

公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート

<https://www.legal-support.or.jp/>

制度について具体的な手続きなどをわかりやすく解説。相談窓口のページから県別に各地支部を検索することができます。埼玉支部では電話相談を行っています。

埼玉支部 電話相談窓口（相談料無料） 048-845-8551

月曜～金曜日 10時～12時、13時～16時（祝日・お盆・年末年始除く）

※電話相談の流れ

- （1）事務局において相談内容の概要を聴取
- （2）司法書士（リーガルサポート埼玉支部会員）から相談者へ電話連絡

5 サポート方法・介護

①ケアに関すること

 『**認知症高齢者のBPSDに向き合うケア**』（小木曾加奈子編著 学文社 2020.3）
認知症などの療養の場における BPSD（行動・心理症状）に向き合うケアについて、さまざまな方法を紹介しています。

 『**家族が認知症かも？と思ったときのファーストブック**』（河野和彦監修 KADOKAWA 2020.12）
家族が認知症になってしまったら？まずは認知症とはどのような病気なのか、病気になった時の向き合い方や介護の手続き、相続など認知症にまつわるさまざまな疑問についての「正しい知識と回答」が詰め込まれた本です。

 『**不安をやわらげる家族の認知症ケアがわかる本**』（亀山裕美監修 西東社 2017.8）
認知症と疑われる、または診断された方が直面する問題を、ケアの方法、ケース別アドバイス、医療・福祉の利用、精神面などの項目でわかりやすく解説した本です。

【ユマニチュード（Humanitude）とは？】

ユマニチュードとは、「人間らしさを取り戻す」という意味のフランス語の造語です。認知症ケアの効果的な技法として注目を集め、「ケアする人」と「ケアをうける人」の信頼関係（コミュニケーション）に重きを置いています。

 『**ユマニチュードと看護**』（本田美和子，伊東美緒編集 医学書院 2019.2）
実践者たちは、どのようにユマニチュードを活用し、理想的なケアを「現実」のものにしてきたのか？医療現場のケアを改革したい人が知っておきたいエッセンスを凝縮し、緩和ケア領域などのリアルな現場の手応えも収載している本です。

 『**家族のためのユマニチュード “その人らしさ”を取り戻す、優しい認知症ケア**』（イヴ・ジネスト，ロゼット・マレスコッティ，本田美和子著 誠文堂新光社 2018.8）
「見る」「話す」「触れる」「立つ」を4つの柱とする、人間の尊厳を守るケアの方法について家庭内で誰もが実践できるよう、やさしい文章とイラストでわかりやすく紹介しています。

②介護サービス事業所・施設を探す

 **介護事業所・生活関連情報検索「介護サービス情報公表システム」**（厚生労働省）
<https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>
全国のデイサービス・介護施設などの介護サービス事業所と、地域包括支援センターが検索できます。

 **さいたま介護ねっと**（埼玉県福祉部 地域包括ケア課 高齢者福祉課）
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/index.html>
サービス利用者の方へ）介護サービス施設・事業を探す のページでは、埼玉県内の指定事業所・施設一覧、地域密着型サービス事業所一覧などのダウンロードのほか、上記の「介護サービス情報公表システム」をこちらのページからも検索することができます。

6 相談窓口、話を聴く

①相談する

 **認知症疾患医療センター**（埼玉県保健医療部 疾病対策課 精神保健担当）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/nintisyosennta.html>
※「3 病院を探す」に詳しく掲載しています。

 **公益社団法人 認知症の人と家族の会** <http://www.alzheimer.or.jp/>
全国47都道府県に支部があり、「介護家族のつどい」「本人・若年のつどい」「男性介護者のつどい」などの交流会や、電話相談を実施しています。

 **電話相談：0120-294-456（フリーダイヤル）**
050-5358-657（携帯電話・スマートフォン）
※全国どこからでも無料（携帯電話・スマートフォンからは通話料有料）
10時～15時（土日祝日除く）

 『認知症の親を介護している人の心を守る本』（西村知香監修 大和出版 2019.8）
「介護疲れ」のサインに気付くためのチェックリスト、困ったケース別の対処法、「続けられる介護」のための工夫や心得などをまとめています。親の介護に限らず、介護をしている全ての方の心を支える本です。

②体験談を聴く

 **認定 NPO 法人 健康と病いの語り**（ディペックス・ジャパン）
<https://www.dipex-j.org/>
一人ひとりの患者の、病気や医療体験の語りをインタビュー映像で提供。「認知症本人と家族の語り」では認知症人とその家族の生の声を映像・音声・テキストで見ることができます。

『認知症の語り 本人と家族による 200 のエピソード』

(健康と病いの語りディバックス・ジャパン編 日本看護協会出版会 2016.6)

これまでウェブサイト上でしか触れることができなかった「認知症本人と家族の語り」のデータベースを書籍化。本人や家族の生の声に触れることで、自身の認知症の知識を見つめ直してもらうことを目指しています。

③闘病記を読む

『ボクはやっと認知症のことがわかった』 (長谷川和夫著 KADOKAWA 2019.12)

「長谷川式スケール」開発者で自らも認知症になった専門医の著者が、予防策や歴史的経緯から、社会・医療が果たす役割まで、認知症のすべてを書いています。

『若年性認知症を笑顔で生きる笑顔で寄り添う』 (松本恭子編著 クリエイトかもがわ 2020.12)

若年性認知症になっても、本人や家族がその後の人生を主体的に生きるために、どのような支援が必要なのか。治療と就労を可能にする両立支援と、若年性認知症支援コーディネーターの役割を丁寧にたどります。

【つながろう！認知症カフェ】

認知症の方やその家族、地域の人など、誰もが集うことができる「認知症カフェ」。オレンジカフェとも呼ばれています。

『認知症の人と家族のための「地元で暮らす」ガイドブックQ & A』

(新里和弘監修 メディカ出版 2018.8)

認知症カフェに集まる家族や専門職の人が、認知症の方と暮らすためのヒントを当事者ならではのアイデアや失敗談など、33のQ & Aでわかりやすく掲載しています。

『ようこそ、認知症カフェへ 未来をつくる地域包括ケアのかたち』

(武地一著 ミネルヴァ書房 2017)

認知症になった人、認知症を不安に思う人、認知症の人を見守る家族、認知症のことについて相談したい人など、さまざまな人をやさしく包む「認知症カフェ」。著者が実際に活動し、来店者やスタッフと交流した中から書かれています。

『地域を変える認知症カフェ企画・運営マニュアル』 (矢吹知之編著 中央法規出版 2018.9)

認知症になっても安心して暮らせる地域に変えていくために、「認知症カフェ」がどうあるべきかを考え、運営のポイントを提示した本です。

地域包括ケア応援サイト すまいる埼玉

<https://www.pref.saitama.lg.jp/houkatsukea/index.html>

埼玉県内の各市町村の認知症に関する取り組みを検索することができます。

健康・医療情報コーナーのご案内

久喜図書館では、「健康・医療情報コーナー」を設置し、皆様にとって役に立つ健康・医療情報に関する資料を集めています。

認知症に関する資料は、医療関連は久喜図書館、介護関連・法制度に関する資料は熊谷図書館で所蔵しています。熊谷図書館の資料は久喜図書館での取り寄せ・受取・ご利用が可能ですので、ぜひお気軽にお声がけください。また、県立図書館の本は、お近くの市町村立図書館に取り寄せもできます。



健康・医療に関する図書約 8,800 冊！

医療関係雑誌 約 60 タイトル！

資料リスト、患者会案内ほか各種パンフレットをご用意！

医療関連論文が探せるオンラインデータベース「医中誌 Web」「最新看護索引 Web」「JDreamⅢ」も使える！

『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉 改訂2版』配布中！

